

かせぐみ

① 園外保育

円町公園まで、初めての
お弁当を持っての園外保育に
行って来ました。自分のマフの
バックを胸につけ、出発です。
公園が見えると、「ついで〜!」
「お父さんとお母さんと来たところあるよ!」「初めての公園
だ〜!」と目を輝かせています。約束を話し、お茶を
飲んで、遊び始める時に「あれ? お弁当は?」
「もう食べる?」とお弁当が楽しみで仕方がない様子です。
すべり台や追いかけっこ、虫や草花を探して集めるのを楽しみます。
葉の下や草の中にダンゴムシが沢山いて、お腹に赤ちんがば
いるダンゴムシも見つけました。手の平の上に載せて観察して
いると、白い小さは赤ちんダンゴムシが「お腹のところが赤い
出てきて「かわいい〜!」「も、ここがす〜!」と夢中になって探します。
ちょうど産まれる瞬間を間近で見るのができて、「うわ〜!」と喜ぶ姿は
子どもにも、もう既に楽しいダンゴムシを探そうと夢中な子ども
もいた。園庭で探していたダンゴムシを沢山見つけることができて、
とても嬉しそうに子どもたちでピーンや黄色の花も見つけ、「お母さんに
見せよう〜!」と袋に集めています。待ちに待ったお弁当の時間、「みて
みて〜!」と嬉しそうにお弁当を見せ合います。「みんなめっちゃおいしいよ!」
と笑顔で食べる姿がありました。食べているシートの上にはのびて
くるアリに「ニハ〜!」とアリが臭いなる様子もありましたが、「何か運ん
でる〜!」とアリも必死に食べこぼしを運んでいるのを見て「お腹
すいてるんか〜!」と言っていました。初めての園外保育、
よいお天気に恵まれ、楽しんで行くことが出来ました。まに散歩や
園外保育を通して、子どもたち色々な発見をしていきたいと思ひます。



気温や湿度が上がリ、汗ばむ季節になってきました。
子どもたちは水分補給をしながら、戸外で元気に身体を
動かして遊んでいます。6月は雨の日が多くなると
思いますが、この時期ならではの遊びや
雨上がりのお散歩等、思う存分楽しみ
季節を感じていきたいと思ひます。

そらぐみ

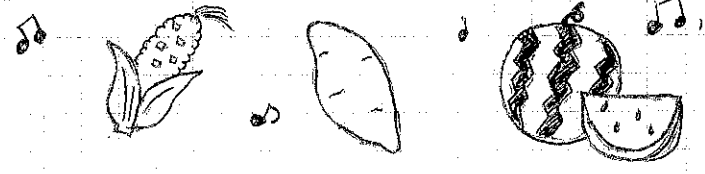
5月も終わりを迎える頃には、そらぐみでの生活も少しずつ慣れ、生活
の中でも「次はこれをして〜」と流れが大体ついてきたように思ひます。
お当番の活動にも取り組んでいて、机を拭いたり、前に立って「いただき
ます。」を言っています。まだみんなの前に立つことに慣れていない子どもは
もじもじしたり、声が小さくなっていますが、それでも最後まで立ってしっかり
前を見て言おうとしている姿があります。また、今月はグループもみんな
決めました。グループ活動や当番を通して同じメンバーの子どもたちで
何かをやりとげることやその喜び、また、周りの友だちの話に耳をかたむけ
たり、思いを伝えあう機会になればいいなと思ひています。グループを決
める際のガシャポンのカプセルを利用したくじ引きでは、ちよとしたわく
わく感が味わえたようで、その時に自分がひいたくじを今でも宝箱に
しまっているという子どももいました。グループでの活動として、まずは今月に
みんなで植えたパプリカときゅうりの水やりとメダカのエサやりをしていま
す。毎日グループの表を見ながら「今日は〇〇グループが水やりやな」「メダカに
エサあげるわ」とグループの子ども同士で声をかけあひながら活動していま
す。活動の中で野菜の成長を見守り、実がなっている発見やメダカがごはんを食
べてる様子を見ながら興味を深めています。

生活の中で「できない」「もうやらない」とあきらめてしま
う姿が見られます。何かをすることに得意不得意もそれぞれあ
ると思ひますが、最初からできることではありません。何度も
失敗をしてできるようになっていきます。あきらめておしまいはな
く「もう一度やってみよう」と思える言葉かけをしていき、次にうまく出来た、うれしい
と自信につながるように見守ってきたいと思ひます。その中でセントはかりをあた
えるのではなく、「どうしたらいいかな?」「どうしたらよかった?」と一緒に考え、自分
で考えられる力もついてほしいと思ひます。
来月は梅雨の時期に入ります。室内での遊びも増えると思うので、お部屋
の中でも身体を動かし、制作や簡単なゲームをしたり充実した毎日を送
りたいです。



たいようぐみ

いっ、ぱいできるかな
今年も野菜の栽培を始めました。ティオハウスで
子どもたちが自分たちで選んだのは、トウモロコシ
、サツマイモ、スイカ(去年1玉しかできなかったのど
りベンジ)でした。土を耕し、苗を植えてから、
毎日水やりをしています。「は、はがふえた!」と
少しの変化にも敏感に気付き、成長を喜んで
います。保育者が「お、きくなつてねー おみず
いっ、ぱいのんでねー」と水をあげていると、
「せんせい、なんでは、はにしゃべってるん(笑)」と
子どもたち。「だ、生きてるからさ、先生の声、きこえて
るかなー」と思つて。」と言つると、なるほどあの表情で
「わー♡(は、はきれいだね♡)」「おみずおいしいでしょ!」
と子どもたちも話しかけはじめました。大切
にお世話し、神様の恵みに感謝できるような
栽培活動にしたいと思ひます。



異年齢との関わりの中で
5月は、クラス交流で他クラスの子どもたちと
関わる機会がたくさんありました。かせ組
やそら組との散歩は余裕を持って歩いていますが、
たんぽぽ組やみず組となると、歩き方ペース
に気がついたり、言葉がけも優しく丁寧
になつて緊張感を持っているように見えます。
年下の子どもたちと直接関わり、お世話しること
あそぶことを通して、小さい子どもたちへの理角年を
深めています。又、同時に人の為にするこ
の快さや喜びを実感して、自分たちは年長児だ
という自覚や誇りも感じています。他クラスの
保育者も一糸者になつて、その気持ち
を大らせて
いきたいです。来月の交流もと
ても楽しみに
している子どもたちです。

② 野菜の苗を植えたよ!

ナスとトマトの苗を屋上のプランターに植えて、毎日水やりをして
生長を観察しています。植える前に苗を見て、ナスとトマトの葉はの
形や色の違いにも気付いていました。土をせわらかくして、植える
場面では、「ほくも!」「わはも!」とやりこい気持ち溢れて
いました。順番にスコップを持って、苗を植えた本根元のところに
優しく土をかけていきます。「おおきくた
ますように〜」とお願ひして、生長を
楽しみにしています。トマトは緑色の
小さい実がはじり始めました。「赤ちん
トマトさん!」と嬉しそうに見ています。



生長を見守り、収穫できるのを楽しみに育てていきな
いと思ひます。

- ★暑い日はシャワーをする時もあるので、弓は水に
72度以上を入浴しておいしくください。
- ★6月より水筒を持ってきてください。ヒモはいいせん
必ず、コップと本体(水筒)に名前を記入し
てください。水筒(白いカゴ)に入れてください。

